



いずみ

令和8年5月29日発行

<学校教育目標>
自ら行動する子
かかわり合い、
よりよい自分を
目指す子

学校HP



コミュニティ
スクール



(Tel) 3480-3881 (Fax) 5497-7358 (HP) <http://www.komae.ed.jp/ele/izumi/>

校長 鷲見 真太郎

安心して自分らしく過ごせる学校 ～風ではなく、光で～

生活指導主任 関 哲也

6月は、「ふれあい月間」です。子供たち一人ひとりが安心して過ごし、互いを認め合いながら成長していけるよう、人との関わりや学校生活について見つめ直す期間としています。

先日開催した「いずみスポーツフェスティバル」では、子供たちの輝く姿をたくさん見ることができました。今年度から名称も新たにスタートしたこの行事において、競技だけでなく、仲間を応援する姿、自分の役割に責任をもって取り組む姿、最後まで挑戦し続ける姿等、子供たちの成長を感じる場面が数多くありました。子供たち自身が考え、自分たちでつくり上げたからこそ生まれた成功と達成感だっように感じています。

その土台となっているのは、「安心して自分を出せる環境」です。

イソップ寓話の「北風と太陽」では、旅人の上着を脱がせようと北風が強く吹きつけても、旅人はかえって身を固くします。一方、太陽があたたかく照らすと、旅人は自ら上着を脱ぎました。私たちも、つい「北風」になってしまうことがあります。「早くしなさい」「どうしてできないの」と、気付けば、強い言葉で変えようとしてしまうことがあるかもしれません。だからこそ、本校では「太陽の関わり」を大切に、子供たちが安心してできる環境の中で、自ら考え、行動していけるよう支えていくことを目指しています。

今年4月には、狛江市で「狛江市子どもの権利条例」が施行されました。子供たちが一人の人間として尊重され、安心して学び、遊び、意見を表明しながら成長していくことを大切にする条例です。本校でも、その理念を大切にしながら、子供たちの声に耳を傾け、一人ひとりを尊重し、「安心して学ぶこと」「自分らしく過ごすこと」ができる学校づくりを進めていきます。

また、この時期は読書活動にも力を入れています。物語の中で登場人物の気持ちに触れることは、自分とは異なる立場や思いを想像することにつながります。相手の気持ちを考える力は、あたたかな人間関係をつくる土台になるはずです。

朝の挨拶や何気ない会話、休み時間の様子等、教職員一同、子供たちの日々の小さな変化に目を向けながら過ごしています。すぐに見える成果ばかりではありませんが、子供たちが「今日も学校に来てよかった」と思える一日を積み重ねていきたいと考えています。

子供たちを支えるためには、学校だけでなく、保護者・地域の皆様との連携が欠かせません。これからも、子供たちの安心と成長を共に支えるために、御理解・御協力をお願いいたします。

6月の安全指導 雨の日の交通安全・廊下の安全歩行

○梅雨の時期ということで、傘の扱い方や安全な登下校について指導します。また、梅雨の時期は廊下などが湿り、滑りやすくなるので廊下の安全歩行についても指導します。

ふれあい月間 6月は「ふれあい月間」です。

学校では、多くの子供たちが共に生活しているため、時にはトラブルやもめ事が起きます。しかし、いじめは絶対に許されるものではなく、学校はいじめを許しません。4月には全学年の保護者会で学校いじめ防止基本方針について共有し、保護者の皆様と共通理解を図りました。また、道徳の学習だけでなく、東京都が示す「いじめ総合対策子供版」を活用し、子供たち自身にもいじめや人との関わりについて考える機会を設けています。さらに、6月と11月にはWEB-QU、6月・11月・2月には「心のアンケート」を実施しています。その結果をもとに、担任と児童による面談を年間2回以上実施し、小さな変化やサインを見逃さないよう努めています。加えて、校内には安心して過ごせる「みんなの居場所」を毎日開設しています。スクールカウンセラー等による相談日も週2日設けており、子供たちや保護者の皆様が安心して相談できる体制を整えています。

今後も全教職員で子供たちを見守り、一人ひとりが安心して学校生活を送れるよう努めてまいります。